

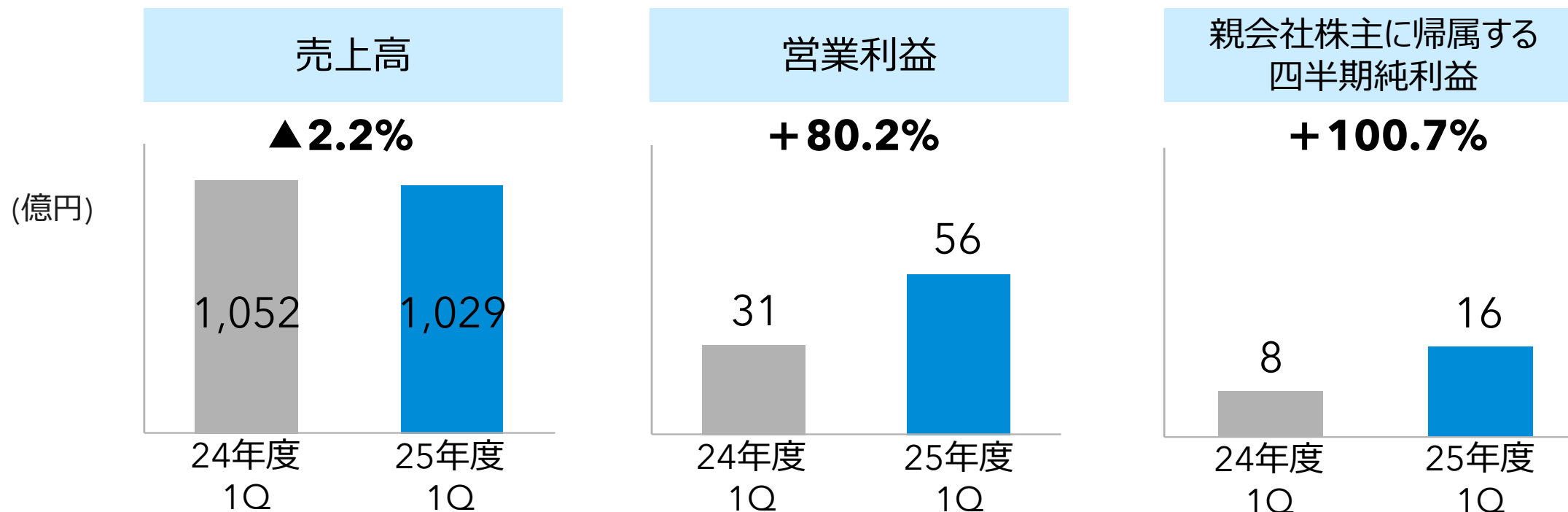
2025. 8. 7

# 2025年度 第1四半期 決算説明

東洋紡株式会社

## 第1四半期 実績

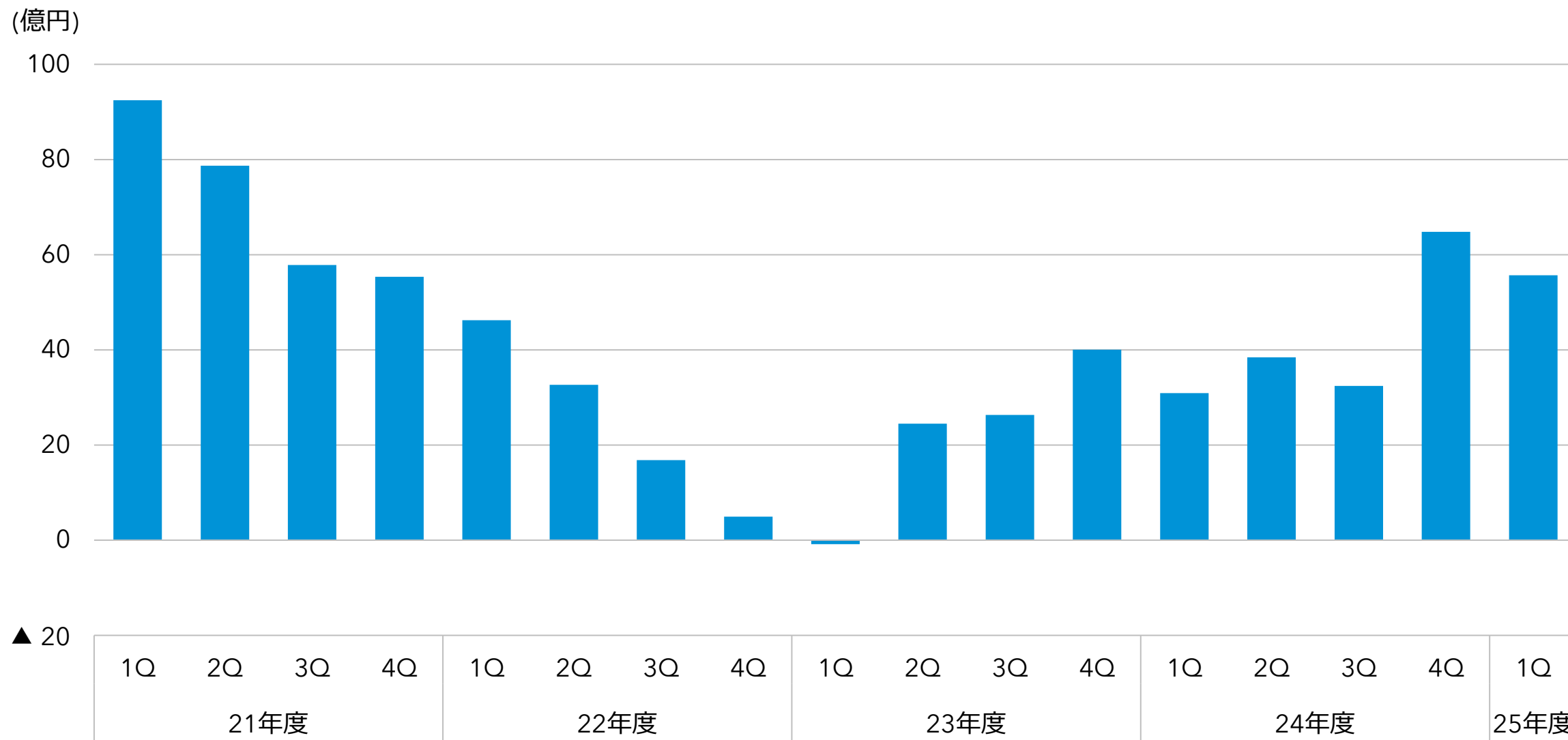
工業用フィルムは堅調持続。包装用フィルムの収益改善も加わり、増益。  
営業利益は 56 億円、四半期純利益は 16 億円



## 2026年3月期 通期予想

包装用フィルムをはじめとする要改善事業の収益改善、および工業用フィルムの堅調な需要に支えられ、  
営業利益 210 億円、当期純利益 45 億円の予想を据え置く

# (参考) 四半期別営業利益推移



# 決算サマリー | PL

	24年度 1Q	25年度 1Q	増 減		(億円)
			金 額	率	
売上高	1,052	<b>1,029</b>	▲ 23	▲ 2.2%	
売上総利益	231	<b>252</b>	+21	+9.1%	
営業利益	31	<b>56</b>	+25	+80.2%	
(率)	2.9%	<b>5.4%</b>	-	-	
営業外損益	▲ 11	<b>▲ 13</b>	▲ 2	-	
経常利益	20	<b>43</b>	+23	+111.8%	
特別損益	1	<b>▲ 13</b>	▲ 13	-	
非支配株主に帰属する 四半期純利益（控除）	8	<b>4</b>	▲ 4	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8	<b>16</b>	+8	+100.7%	
EBITDA <sup>*</sup> <small>* 営業利益 + 減価償却費（のれんを含む）</small>	87	<b>114</b>	+27	+31.5%	
EPS（円）	8.9	<b>17.8</b>	-	-	
減価償却費	56	<b>59</b>	+3	+4.6%	
設備投資	138	<b>66</b>	▲ 71	▲ 51.9%	
研究開発費	37	<b>35</b>	▲ 3	▲ 6.9%	

# 営業外損益・特別損益

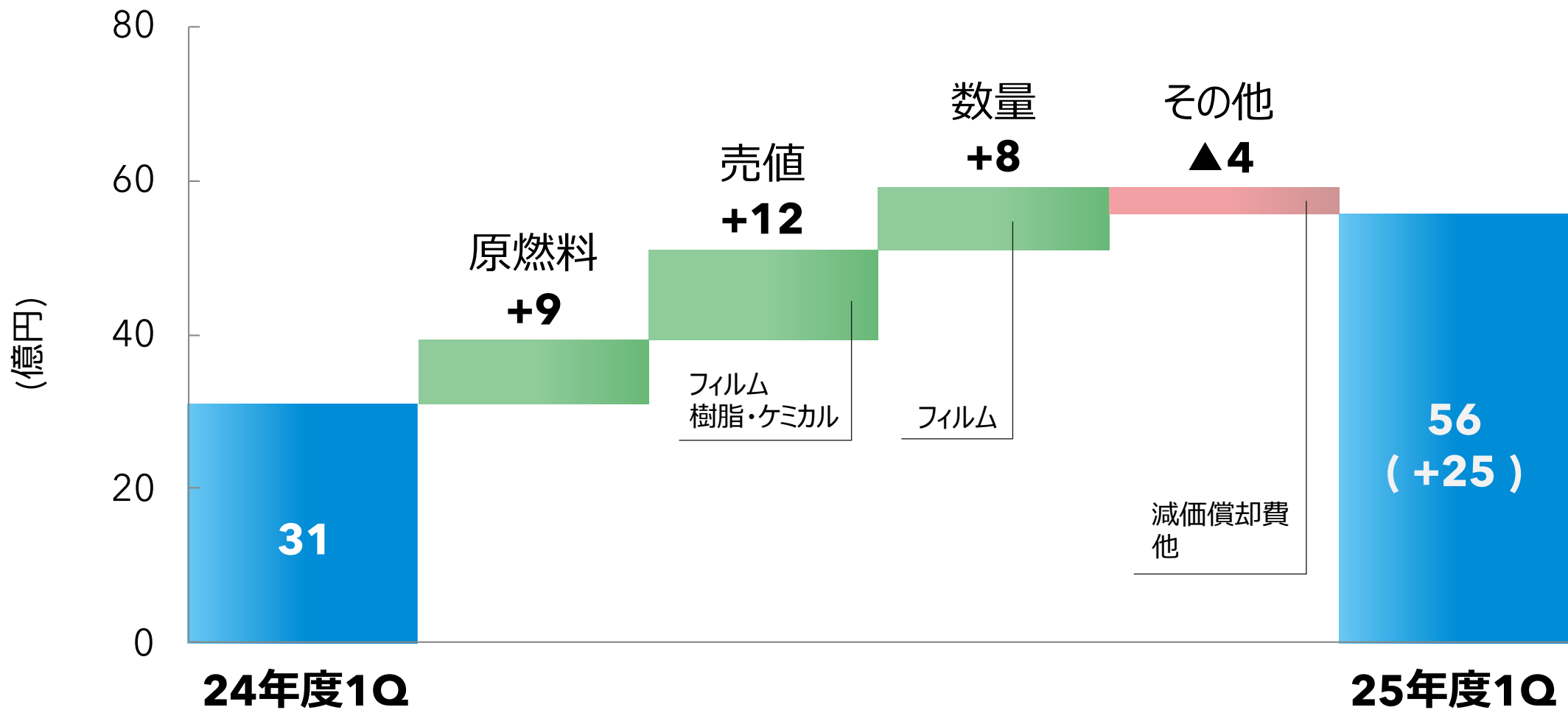
## 営業外損益 内訳 (億円)

	24年度 1Q	25年度 1Q	増 減
為替差益	4	-	▲ 4
その他	6	7	+1
営業外収益 計	10	7	▲ 3
支払利息	4	7	+2
為替差損	-	4	+4
その他	17	9	▲ 8
営業外費用 計	21	20	▲ 1
営業外損益 計	▲ 11	▲ 13	▲ 2

## 特別損益 内訳 (億円)

	24年度 1Q	25年度 1Q	増 減
関係会社株式売却益	4	-	▲ 4
その他	0	-	▲ 0
特別利益 計	4	-	▲ 4
固定資産処分損	3	3	+0
退職給付制度改定損*	-	9	+9
特別損失 計	3	13	+10
特別損益 計	1	▲ 13	▲ 13

\* 一部の連結子会社において退職給付制度の一部を廃止



	23 年度				24 年度				25 年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
為替レート (円/US\$)	137	145	148	149	156	148	152	152	144
国産ナフサ (千円/kl)	67	64	73	73	79	77	73	74	65

	(B)		(A)	(億円)
	24/3末	25/3末	25/6末	増 減 (A)-(B)
総資産	6,070	6,178	<b>6,115</b>	▲ 63
現預金	338	286	<b>308</b>	+22
売上債権	1,028	1,062	<b>987</b>	▲ 74
棚卸資産	1,220	1,190	<b>1,207</b>	+17
有形固定資産	2,815	2,965	<b>2,970</b>	+5
純資産	2,301	2,320	<b>2,287</b>	▲ 34
自己資本	1,970	1,953	<b>1,934</b>	▲ 19
うち利益剰余金	703	690	<b>670</b>	▲ 20
非支配株主持分	331	367	<b>352</b>	▲ 15
有利子負債	2,492	2,679	<b>2,719</b>	+40
D/E レシオ	1.26	1.37	<b>1.41</b>	-
D/E レシオ（資本性調整後） <sup>*</sup>	-	1.15	<b>1.18</b>	-

<sup>\*</sup> 劣後ローンおよび劣後債資本性調整後のD/Eレシオ

# 決算サマリー | セグメント別

TOYOB0

(億円)

	売上高		営業利益		
	24年度 1Q	25年度 1Q	24年度 1Q	25年度 1Q	増 減
フィルム	421	<b>446</b>	15	<b>40</b>	+25
ライフサイエンス	81	<b>80</b>	4	<b>2</b>	▲ 2
環境・機能材	281	<b>254</b>	13	<b>15</b>	+2
機能繊維・商事	240	<b>219</b>	2	<b>1</b>	▲ 1
不動産・その他	29	<b>30</b>	5	<b>5</b>	+1
消去・全社	-	-	▲ 7	▲ <b>7</b>	+1
合計	1,052	<b>1,029</b>	31	<b>56</b>	+25



	24年度	25年度	増減		(億円)
	1Q	1Q	金額	率	
売上高	421	446	+25	+5.9%	
営業利益	15	40	+25	+166.4%	
(率)	3.6%	9.0%	-	-	
EBITDA	39	65	+26	+65.5%	

## 包装用フィルム

- 人件費や物流費などの製造コスト上昇に対し、製品価格の改定を進め、収益が改善

## 工業用フィルム

- 液晶偏光子保護フィルムは、堅調に推移
- セラミックコンデンサ用離型フィルムは、販売が拡大

	24年度	25年度	増減		(億円)
	1Q	1Q	金額	率	
売上高	81	80	▲ 0	▲ 0.6%	
営業利益	4	2	▲ 2	▲ 56.4%	
(率)	4.6%	2.0%	-	-	
EBITDA	12	11	▲ 0	▲ 3.9%	

## バイオ

- 診断薬用原料酵素は、前期の生産性低下の影響が残り、収益悪化

## メディカル

- 人工腎臓用中空糸膜は、販売が堅調に推移

## 医薬

- 製品価格の改定が進捗し、収益性が改善

	24年度	25年度	増減		(億円)
	1Q	1Q	金額	率	
売上高	281	254	▲ 26	▲ 9.4%	
営業利益	13	15	+2	+15.0%	
(率)	4.5%	5.8%	-	-	
EBITDA	24	26	+2	+6.8%	

## 樹脂・ケミカル

- エンジニアリングプラスチックは、海外向けの自動車用途の販売が低調も、製品価格の改定が進捗
- 工業用接着剤“バイロン”は、塗料・接着用途や電子材料用途の販売が増加
- 光機能材料（感光性樹脂版）は、中国や東南アジア向けの販売が堅調に推移

## 環境・ファイバー

- 環境ソリューションは、EV市場減速の影響により、  
LIBS\*製造工程で使用されるVOC回収装置の出荷が減少
- 不織布マテリアルは、国内生産体制の見直しが進み、収益性が改善

\* リチウムイオン電池セパレータ

	24年度	25年度	増減		(億円)
	1Q	1Q	金額	率	
売上高	240	219	▲ 21	▲ 8.8%	
営業利益	2	1	▲ 1	▲ 64.6%	
(率)	0.8%	0.3%	-	-	
EBITDA	8	7	▲ 1	▲ 12.9%	

## 衣料繊維

- 中東向け特化生地は、強い需要により販売が増加
- スポーツ用途は、不採算商材からの撤退が進展

## エアバッグ用基布

- 日系顧客のアジアでの減産影響を受け、販売量が減少

# 2025年度の事業環境見通し



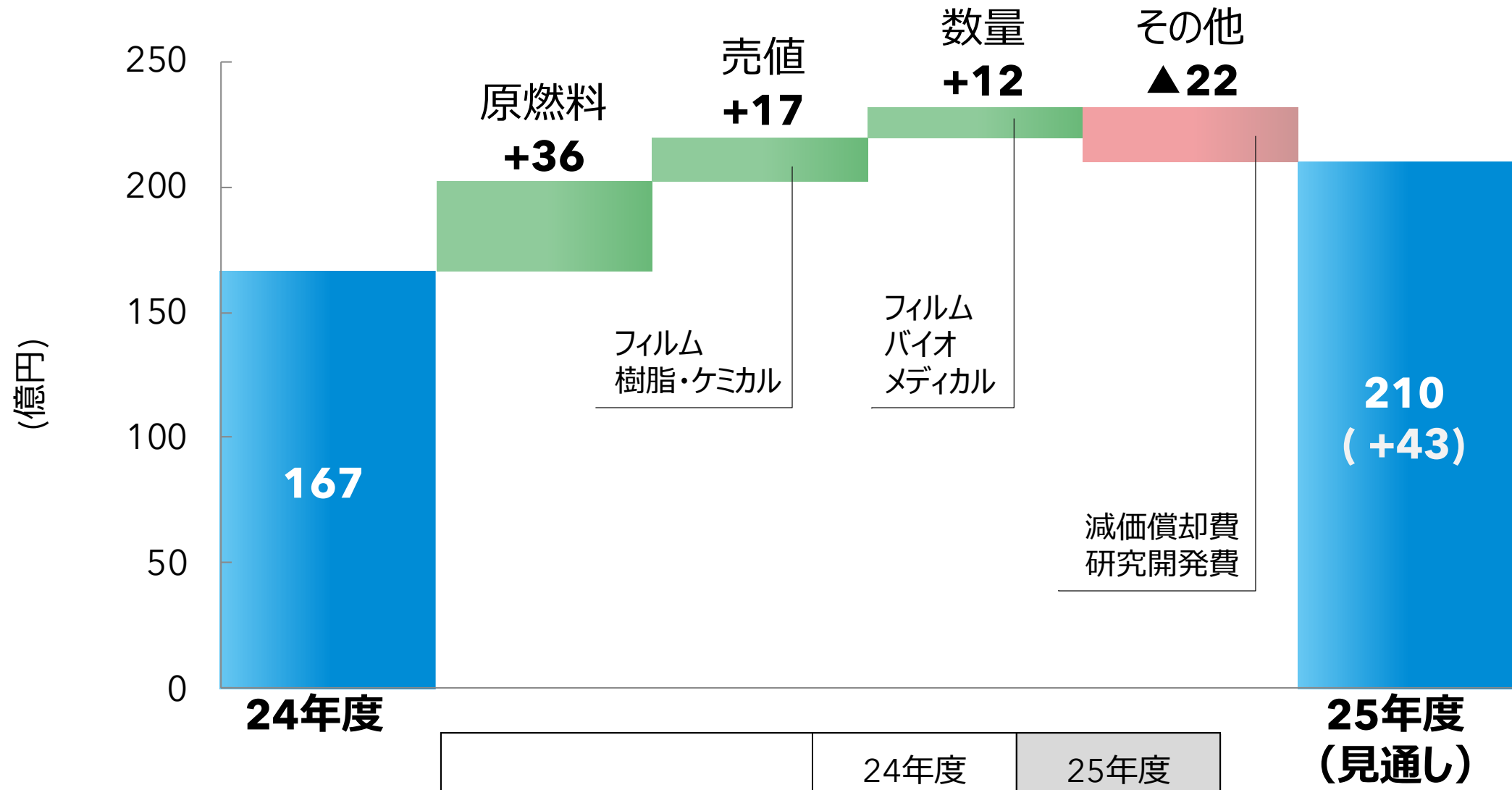
セグメント	事業	期初想定 米国関税影響の織り込み無し	今回見通し	
			対想定*	
フィルム	包装用	前年度並みの需要	－	前年度並みの需要
	工業用	液晶偏光子保護フィルムは前年度並みの需要	－	前年度並みの需要
		MLCCはAIサーバー向けを中心に需要拡大	－	AIサーバー向けを中心に需要拡大
ライフサイエンス	バイオ	生化学診断薬用酵素は需要堅調	－	需要堅調
	メディカル	人工腎臓用中空糸膜は需要堅調	－	需要堅調
環境・機能材	樹脂・ケミカル	自動車用途は前年度並みの需要	▲	米国相互関税の影響懸念
		電子材料用途は需要回復基調	－	需要回復基調
	環境・ファイバー	VOC回収装置はEV化減速の影響継続	－	EV化減速の影響継続
		不織布マテリアルの厳しい競争環境は継続	－	厳しい競争環境は継続
機能繊維・商事	エアバッグ	前年度並みの需要	▲	アジアの減少に加え、米国相互関税の影響懸念
共通		国産ナフサ価格は低下傾向	－	国産ナフサ価格は低下傾向

\* 期初想定に対し、○：改善・拡大、－：想定通り、▲：悪化・減少 13

# 2025年度 業績見通し

包装用フィルムをはじめとする要改善事業の収益改善、および工業用フィルムの堅調な需要に支えられ、営業利益 210 億円、当期純利益 45 億円の予想を据え置く

	24年度	25年度	増 減		(億円)
	実績	見通し	金 額	率	
売上高	4,220	<b>4,400</b>	+180	+4.3%	
営業利益	167	<b>210</b>	+43	+26.1%	
(率)	3.9%	<b>4.8%</b>	-	-	
経常利益	106	<b>155</b>	+49	+46.4%	
特別損益	▲ 34	▲ <b>45</b>	▲ 11	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	<b>45</b>	+25	+124.6%	
EBITDA	394	<b>460</b>	+66	+16.9%	
EPS (円)	22.7	<b>51.0</b>	-	-	
減価償却費	227	<b>250</b>	+23	+10.1%	
設備投資	432	<b>350</b>	▲ 82	▲ 18.9%	
研究開発費	143	<b>150</b>	+7	+5.2%	



# セグメント別見通し

TOYOB0

(億円)

売上高	24年度 実績			25年度 見通し			通期 増減	直近予想 (25/5)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		上期	下期	通期
フィルム	828	840	1,668	<b>900</b>	<b>850</b>	<b>1,750</b>	+82	900	850	1,750
ライフサイエンス	172	171	343	<b>200</b>	<b>210</b>	<b>410</b>	+67	200	210	410
環境・機能材	552	556	1,108	<b>550</b>	<b>620</b>	<b>1,170</b>	+62	550	620	1,170
機能繊維・商事	479	501	981	<b>450</b>	<b>500</b>	<b>950</b>	▲ 31	450	500	950
不動産・その他	60	60	120	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>120</b>	+0	60	60	120
消去・全社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,092	2,129	4,220	<b>2,160</b>	<b>2,240</b>	<b>4,400</b>	+180	2,160	2,240	4,400

営業利益	24年度 実績			25年度 見通し			通期 増減	直近予想 (25/5)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		上期	下期	通期
フィルム	30	39	69	<b>53</b>	<b>37</b>	<b>90</b>	+21	43	37	80
ライフサイエンス	9	11	20	<b>7</b>	<b>28</b>	<b>35</b>	+15	12	28	40
環境・機能材	34	46	80	<b>33</b>	<b>54</b>	<b>87</b>	+7	33	57	90
機能繊維・商事	1	4	5	<b>3</b>	<b>8</b>	<b>11</b>	+6	3	10	13
不動産・その他	12	14	26	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>22</b>	▲ 4	11	11	22
消去・全社	▲ 16	▲ 17	▲ 33	▲ <b>17</b>	▲ <b>18</b>	▲ <b>35</b>	▲ 2	▲ 17	▲ 18	▲ 35
合計	69	97	167	<b>90</b>	<b>120</b>	<b>210</b>	+43	85	125	210



補足

(億円)

売上高	24 年度					25 年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
フィルム	421	407	421	420	1,668	446
ライフサイエンス	81	91	85	86	343	80
環境・機能材	281	272	283	273	1,108	254
機能繊維・商事	240	239	233	268	981	219
不動産・その他	29	31	29	32	120	30
消去・全社	-	-	-	-	-	-
合計	1,052	1,040	1,051	1,078	4,220	1,029
営業利益	24 年度					25 年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
フィルム	15	15	8	31	69	40
ライフサイエンス	4	5	6	5	20	2
環境・機能材	13	21	23	23	80	15
機能繊維・商事	2	▲ 1	▲ 0	5	5	1
不動産・その他	5	7	6	8	26	5
消去・全社	▲ 7	▲ 9	▲ 10	▲ 7	▲ 33	▲ 7
合計	31	38	32	65	167	56

## GPIF が採用する 6 つの ESG投資指数\* すべての構成銘柄に3年連続で選定

\*国内株式を対象

- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI 日本株 ESG セレクト・リーダーズ指数
- MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)
- S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- Morningstar 日本株式 ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数 (除くREIT)



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

FTSE Russell (FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標)はここに東洋紡株式会社  
が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄と  
なったことを証します。FTSE Blossom Japan IndexはグローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが  
作成し、環境、社会、ガバナンス (ESG) について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測  
定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品  
の作成・評価に広く利用されます。



FTSE Blossom  
Japan

2025 CONSTITUENT MSCI日本株  
ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF TOYOB0 CO., LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS,  
TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP,  
ENDORSEMENT OR PROMOTION OF TOYOB0 CO., LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.  
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES  
AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

